



東京のグランドデザイン検討委員会 2015年6月30日

「2040年代の東京」を考える

立教大学 経済学部 准教授

首藤 若菜

1. 理念：東京が目指す都市の姿

(1) 「世界一の都市・東京」

- ・都市は、人々が自分の夢や希望を叶えるために自由に活動する舞台
- ・誰もが幸せを実感し、住み続けたいと思う都市
→安全・安心な都市、福祉先進都市、グローバル都市...
- ・多くの人を魅了し、引きつけ、さらに進化していく都市、東京

(『東京都長期ビジョン～「世界一の都市・東京」の実現を目指して～』より)

2. 課題

(1) 人口減少と少子高齢化

- ・ 著しく低い出生率をどう考えるか？
- ・ 急速に進む高齢化への対応
- ・ 労働力は足りるのか？

(2) 「豊かな東京」に潜む貧困問題

- ・ 貧困問題の深刻化：高齢化、単身世帯の増加、離婚率の上昇...

参考資料

表1. 合計特殊出生率（推計値）

	2010-2015年	2035-2040年
全国	1.38	1.34
東京都	1.13	1.10
北海道	1.24	1.19
大阪府	1.31	1.27
福岡県	1.43	1.39
福井県	1.56	1.51
宮崎県	1.60	1.54
沖縄県	1.81	1.75

出所：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成25年3月推計）

参考資料

表 2. 生活保護制度による保護率 高い・低い都道府県例

都道府県	保護率（人口千対）	都道府県	保護率（人口千対）
福岡県	25.6	富山県	2.7
北海道	24.8	岐阜県	3.2
沖縄県	23.2	石川県	4.7
東京都	21.7	福井県	4.8
大阪府	21.4	長野県	4.8

出所：厚生労働省『厚生統計要覧（平成26年度）』

3. 女性の就労促進

(1) 女性就労が及ぼす効果

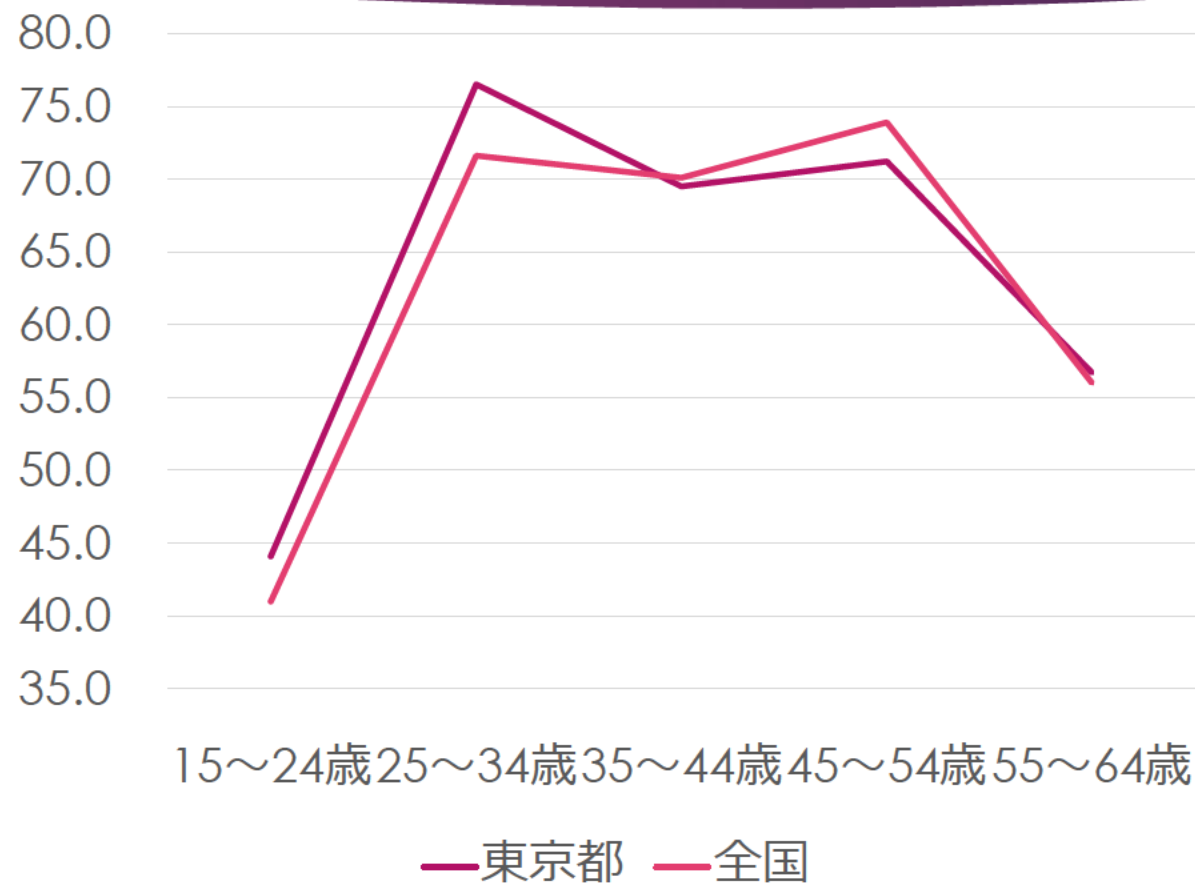
労働力人口／経済成長／出生率／貧困問題...

(2) 雇用の安定、生活できる賃金、Decent Work（働き甲斐のある人間らしい仕事）

- ・ 女性や若者が、夢や希望を描ける場所になるために
- ・ 柔軟な労働市場と強い福祉的な支援
- ・ グローバル都市に相応しいグローバル・スタンダードとは（例：クォータ制）
- ・ 「働くこと」を通じた社会的連帯の強化

参考資料

図1. 女性の年齢別就業率



出所：「全国」は総務省統計局『労働力調査』より。「東京都」は「東京の労働力（労働力調査結果）」より。

4. 普遍的で良質な保育・教育制度

(1) 「待機児童の解消」だけで充分か？

- ・ 1-2歳児に良質な保育サービスを、3歳児から「義務教育」を
- ・ 格差の縮小。不平等の主たる要因は何か？
- ・ 外国人労働者、移民労働者と「社会統合」

(2) 財政的問題

- ・ 二次的な影響を計算に組み入れる
- ・ 良質な保育および幼児教育が与える影響
→短期的な合理性と長期的な合理性。「合成の誤謬」

5. 理念の再考

(1) 東京都の役割とは何か

「理念」の再考は必要ないか？

(2) 効率性の追求の果てに

集積のメリットと地方の衰退

(3) 地方にとっての東京とは、日本にとっての東京とは

東京をどうするかと、他の地域をどうするかは、一体で考えるべき